

DNP Report Vol.111

株主通信 (証券コード:7912)

[特集]

注力事業による新たな価値の創出 ～モビリティ・環境関連～



DNP

未来のあたりまえをつくる。®



代表取締役社長 よしなり 北島 義斉

社会に貢献し、人々の暮らしを 豊かにしていく「志」のもと DNP自身がより良い未来をつくり出していく。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

私たちDNPグループは常に、社会に貢献し、人々の暮らしを豊かにしていく「志」を持ち続け、その思いを今、「未来のあたりまえをつくる。」というブランドステートメントに込めています。この志を掲げるDNPには、未来をより良いものにしていく使命があると考えています。

私たちはまた、サステナブルな地球の上で初めて、健全な社会と経済、快適で心豊かな人々の暮らしが成り立つと捉えています。現在は特に、環境・社会・経済の変化が加速し、国際的な地政学や感染症のリスク、原材料やエネルギーの価格上昇の影響なども強まっていますが、こうした変化に対応すると同時に、自らが変革を起こすことで、大きなビジネスチャンスにつなげていきます。

DNPは、企業理念に「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する」ことを掲げ、事業ビジョンとして「P&Iイノベーションにより、4つの成長領域を軸に事業を拡げて

いく」ことを示しています。そしてその実現に向けて、事業の推進と基盤の強化を両輪とし、「未来のあたりまえ」をつくり出すビジネスプロセスを展開しています。

現在は、「デジタルトランスフォーメーション」「長寿命化」「都市のスマート化」「循環経済の構築」といったメガトレンドを的確に捉え、「IoT・次世代通信」「データ流通」「モビリティ」「環境」の注力事業に経営資源を集中させています。DNP独自の「P&I」（印刷と情報）の強みを掛け合わせ、多様なパートナーとの連携を強化して、社会の課題を解決するとともに、人々の期待に応える新しい価値を創出していきます。

このうち「モビリティ関連事業」については、環境負荷の低減やエネルギー効率の向上、高度な情報セキュリティや安全性・快適性が求められる「次世代モビリティ社会」に向けて、各種製品・サービスの開発に努めました。世界トップシェアを獲得しているリチウムイオン電池用バッテリーパウチの事業もさらに強化していきます。

「環境関連事業」では、再生可能エネルギーの拡大に向けた太陽電池用の部材などで、環境負荷の低減に貢献する価値を提供しています。また、食品や日用品

など生活者の身近な製品のパッケージを展開してきた強みを活かし、より快適な暮らしをデザインしていく取り組みを強化しました。「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING」の事業拡大に努めたほか、独自の材料加工技術を活かした「DNP透明蒸着フィルムIB-FILM」シリーズなど、アルミ箔やアルミ蒸着フィルムに比べて環境負荷が小さく、内容物を保護するバリア性や透明性に優れた機能性フィルム製品を開発・提供しました。

*4-5ページで、注力事業の主な取り組みをご紹介します。

2023年3月期の第1四半期(2022年4-6月)については、高い収益性と市場成長性を見込む4つの注力事業を強力に推進しました。国内外で高いシェアを獲得している製品・サービスを中心に新しい価値の創出に努め、

強い事業ポートフォリオの構築を推進したほか、財務／非財務資本等の経営基盤の強化に努めました。

当期の連結業績は、売上高が前年同期比0.8%増の3,344億円、営業利益が2.5%増の169億円、経常利益が13.5%増の226億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が5.8%増の157億円となりました。

私たちDNPは常に挑戦を繰り返して、人々が望む価値を一つずつ形にしていけることで、より良い未来を自らつくり出していきます。引き続き、株主の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様との対話を深め、グループの総合力を発揮して、人と社会をつなぐ価値の創出に取り組んでいきます。

今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

DNPが大切にしている環境・社会・経済の基盤とDNPが創出する価値のイメージ

Well-being
心豊かな暮らし

快適 Value

わくわく Value

人生100年

一人ひとりに合わせる
学びの基盤

いきいきと生きる
健康の基盤

Sustainability
持続可能な
環境・社会・経済





【特集】注力事業による新たな価値の創出 ～モビリティ・環境関連～

コンバーティング技術を活かした機能性フィルムで 「安全・安心・健康・快適・環境」の本質的な価値を提供

印刷プロセスで培った技術を掛け合わせ「機能性フィルム」の多彩な用途を開拓。「モビリティ」「環境」関連などの事業に注力し、SDGsの達成にもつながる新しい価値の創出に取り組んでいます。



モビリティ関連



■ リチウムイオン電池用部材

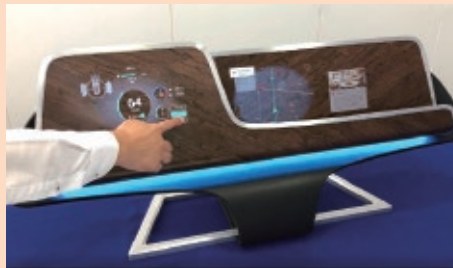
電気自動車 (EV) のバッテリーでは、走行性能の向上や省エネに向けて、大容量化・軽量化・薄型化などが進められています。DNPは、保有するコーティング技術やラミネート技術を活かし、リチウムイオン電池の外装材としてフィルムベースのバッテリーパウチの開発に取り組み、EVに必要な耐熱性・耐振動性・長寿命化を実現。世界トップシェアを獲得しています。

リチウムイオン電池を安全・安心に包むバッテリーパウチの需要は、情報端末用や車載用、蓄電池などさまざまな用途で拡大しています。



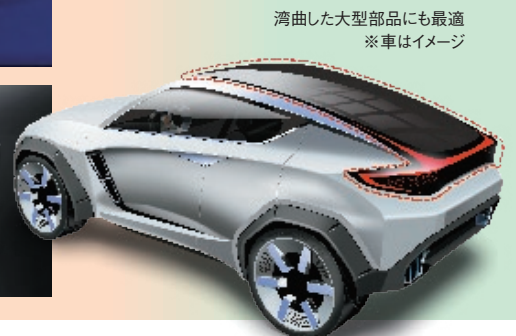
■ モビリティ内外装材

DNPは、自動車用内装材としての機能を高めるとともに、木目柄や幾何学模様などのデザインを施した加飾フィルムを提供しています。高意匠の製品にディスプレイや操作スイッチなどを表示する光学性能を融合。自動運転の進展も見据え、快適な空間を実現する次世代加飾パネルも開発しています。また、住宅用建築材で培った独自のEB硬化技術を活かし、ハードコート性能を樹脂に付与する転写フィルムと樹脂成形品を開発。モビリティ機器の軽量化や無溶剤塗工など、環境負荷低減と健康にも貢献しています。



上：自動車内装の先進的なシームレスデザインを実現する「次世代加飾パネル」

下：耐傷性・耐候性と成形性を両立する「DNP 超耐候ハードコート転写フィルム」を表面に転写した曲面樹脂グレーシング



湾曲した大型部品にも最適
※車はイメージ



コアテクノロジー [生活・産業部門]

コーティング技術

材料を基材表面に薄く均一に付着させて覆う処理の技術。この技術と基材の設計技術を掛け合わせることで、光学特性・バリア性・耐熱性など、多様な機能を持つ塗膜を形成できる。

真空成膜技術

真空状態を利用し、気化させた材料をプラスチックフィルム等の基材に蒸着させることで、純度の高い極薄膜を生成する技術。



EB (Electron Beam) 硬化技術

電子線を照射することで、樹脂や塗膜を瞬時に高機能化する技術。耐傷・耐候・防汚・抗菌・抗ウイルスなどの機能や、機能を長期間持続する耐久性を付与することができる。

ラミネート技術

フィルム・金属・樹脂など別々に製造された素材を均一に貼り合わせる技術。用途に応じて複数の機能性材料を貼り合わせることで、より高い性能を持たせることもできる。

環境関連

環境配慮包材

DNPは、コーティングやラミネート、製袋・成型など、独自の材料加工技術であるコンバーティング技術を強みとし、多彩な機能性フィルム製品を開発・提供しています。例えば「中身を護る」バリアフィルムの機能が、従来の食品包装だけでなく、多方面から求められています。こうしたニーズに応え、さらに期待を先取りするため、水蒸気や酸素等のガスバリア性や形状の自由度といったフィルム特性の高度化などに取り組んでいます。

包装関連事業では、ガスバリア性と透明性を両立した「DNP 透明蒸着フィルム IB (Innovative Barrier)-FILM®」シリーズを展開。また、植物由来の原材料を一部に使用した「DNP 植物由来包材 バイオマテック®」シリーズ、単一素材にすることでリサイクルしやすくし、資源の循環を促すモノマテリアル包材など環境配慮製品のシェア拡大を図っています。



DNP 植物由来包材 バイオマテック®



DNP モノマテリアル包材

DNP 透明蒸着フィルム IB-FILM®

TOPIC

「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」で約15万トンのCO₂削減効果を達成

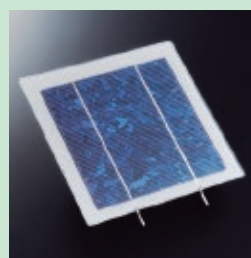
DNPは、「CO₂の削減」「資源の循環」「自然環境の保全」という3つの価値の提供をめざし、独自の「DNP 環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」の開発・提供を強化しています。「CO₂の削減」では、事業を通じた環境への貢献度合いを可視化する取り組みのひとつとして、2019年度・2020年度に、1年間の植物由来原料を使用したパッケージの出荷量からCO₂削減量を算出しました。2021年度は新たに、「GREEN PACKAGING」全体の出荷量からCO₂削減量を算出し、その効果が約15万トンに達しました*。これは、森林面積約11,900ha(東京ドーム約2,500個分)に相当します。また、CO₂排出量を可視化して第三者認証済みの算定結果を提供する「DNP ライフサイクルCO₂認証システム」の本格運用を本年4月に開始。7月には医療・医薬向けパッケージを算定対象に追加しました。今後も対応できる製品のラインアップ拡大に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

*「GREEN PACKAGING」の原材料調達・製造・輸送・廃棄の段階について算定。

産業用高機能材

DNPでは、安定した品質等の実績を強みとし、再生可能エネルギーの拡大に向けた太陽電池用の部材(封止材・バックシート)*や医療・医薬／各種産業用の製品などで、グローバル市場でのシェア拡大に努めています。電源無しで一定温度を長時間保持できる「DNP多機能断熱ボックス」や、ワクチン等の薬液の移送・保管用コンテナなど、高機能製品の市場を広げていきます。

*DNPの封止材は、高い水蒸気バリア性で太陽光や水分によるダメージから太陽電池セルを守ります。バックシートは高い耐久性を有しており、外観を損なわず、従来よりも高い発電効率を実現します。



太陽電池用部材



DNP多機能断熱ボックス

Pickup News

2022年7月21日発表

印刷業界で唯一、GPIFが採用する5つの指標すべてに選定

DNPは、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が、「ESG投資」の運用に関して採用している5つの構成銘柄のすべてに選定されました。

今回選定されたのは「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の5つです。これらは、GPIFが、環境・社会・ガバナンス(ESG:Environment・Social・Governance)に関する優れた取り組みを行っている企業に投資する「ESG投資」で採用している指標です。このうち、「FTSE Blossom Japan Index」には6年連続で選定されました。この5つの指標すべてに選定されているのは、DNPが印刷業界で唯一となります。

またDNPは、世界的に権威のある社会的責任投資(SRI:Socially Responsible Investment)の指標である「FTSE4Good Global Index」に22年連続で選定されました。

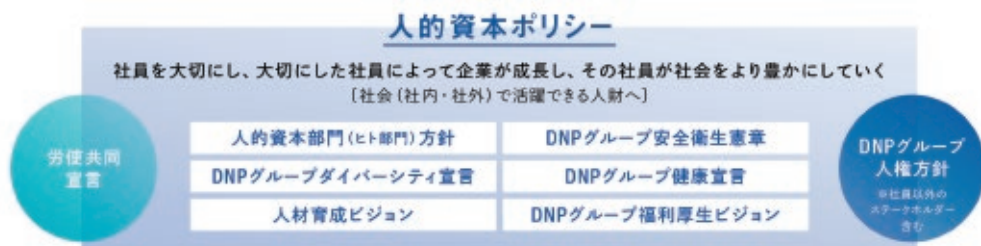


2022年8月4日発表

社員に対する普遍的・基本的な考え方を「人的資本ポリシー」として策定

DNPは、価値創出の重要な基盤である社員に対する「人への投資」を加速しています。これには、「一人ひとりが強みを伸ばし、社内・社外で活躍できる人材として育ててもらいたい」という思いと、「社員を大切に、大切にされた社員によって企業が成長し、その社員が社会をより豊かにしていく」という信念が根底にあります。2022年度には、社員に対するこうした普遍的・基本的な考え方を、「人的資本ポリシー」として策定しました。このポリシーを、これまで発信してきた人に対する方針・ビジョン・宣言等の最上位の概念として位置づけ、それ

らを体系的に捉えられるように構造化しました。本ポリシーのもと、一体的かつ戦略的に人的資本の強化に取り組むことで、より良い組織風土の醸成と多様な人材の成長に向けた「人への投資」を充実させ、さらなる企業価値の創出に努めていきます。



2022年8月31日 日本語版PDF公開

「DNPグループ統合報告書2022」を発行しました

DNPは、価値創造プロセスや中期経営計画等について、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にわかりやすくお伝えする「DNPグループ統合報告書2022」を発行しました。本誌は、財務情報に加え、環境・社会・ガバナンス(ESG)なども含めたDNPの活動全体に関する年次報告書です。DNPは本誌のほか、有価証券報告書、株主通信、環境報告書等の発行物や、さまざまな対話の機会を通じて説明責任を果たし、企業価値の向上につなげていきます。

DNPのウェブサイトでご覧いただけます。
 ©日本語版PDFのダウンロードページ
 URL <https://www.dnp.co.jp/ir/library/annual/index.html>
 ※英語版PDFおよび、日本語版の冊子も発行する予定です。



2023年3月期第1四半期決算のご報告 (2022年4月1日～2022年6月30日)

連結業績の概況 (単位:億円)

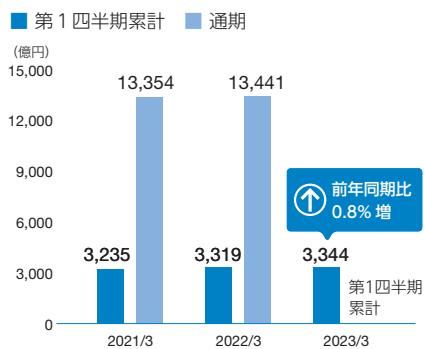
科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,344	3,319
営業利益	169	165
経常利益	226	199
親会社株主に帰属する 四半期純利益	157	148

連結業績の予想 (単位:億円)

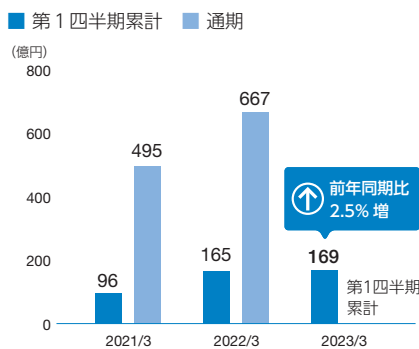
科目	2023年3月期通期(対前期増減率)
売上高	13,800 (+2.7%)
営業利益	670 (+0.3%)
経常利益	815 (+0.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	670 (△31.1%)

1株当たり当期純利益249円84銭

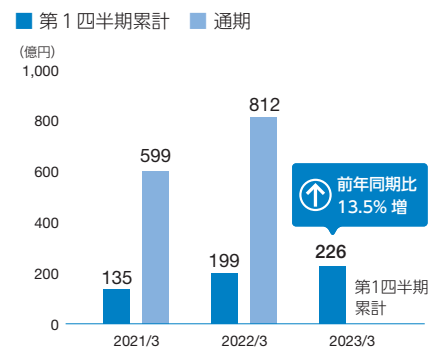
連結売上高



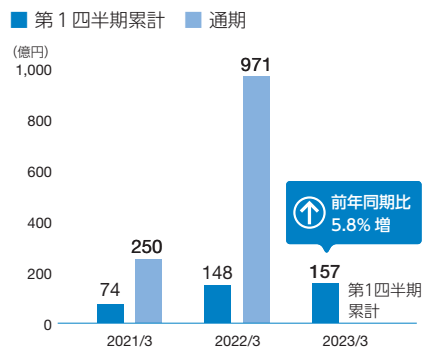
連結営業利益



連結経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産の部	18,161	18,766
流動資産	7,903	8,048
固定資産	10,258	10,718
負債の部	6,973	7,282
流動負債	3,946	4,061
固定負債	3,026	3,221
純資産の部	11,188	11,484

印刷事業



写真プリント用 昇華型熱転写記録材



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ



半導体用フォトマスク

飲料事業



飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	1,736億円
前年同期比	0.3% 増
営業利益	47億円
前年同期比	6.3% 減

マイナンバーカードや、写真の撮影・プリント用の部材とサービスなどが増加した結果、増収・減益となりました。

生活・産業部門

売上高	927億円
前年同期比	3.4% 減
営業利益	15億円
前年同期比	67.1% 減

リチウムイオン電池用バッテリーパウチなどが減少し、原材料高などの影響により、減収・減益となりました。

エレクトロニクス部門

売上高	574億円
前年同期比	9.1% 増
営業利益	162億円
前年同期比	29.8% 増

有機ELディスプレイ関連製品や、半導体製品の製造用フォトマスクなどの増加により、増収・増益となりました。

飲料部門

売上高	110億円
前年同期比	3.2% 増
営業利益	▲4億円
前年同期比	—

量販店やウェブサイトでの販売が増加したものの、原材料高の影響により、増収・4億円の損失となりました。

「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント

2023年版「DNPenguin卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、DNPの多様な取り組みや製品・サービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)をすべてご記入いただき、同封の保護シールを貼付のうえ、ご返送ください。

※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内への発送に限らせていただきます。※株主様ご本人のお名前でお申込みください。※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできないことがあります。※発送は2022年12月頃を予定しています。

お申込み締切 **2022年10月31日(月)当日消印有効** ※締切日にご注意ください。

お問い合わせ 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局
電話:0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間:2022年10月7日~2023年2月3日(土・日・祝日除く10:00~17:00受付)
※2022年12月29日~2023年1月4日は年末年始休暇のため、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2023年6月以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただくことがあります。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社個人情報保護方針 URL <https://www.dnp.co.jp/privacy/>

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

個人情報取扱責任者 IR・広報本部 IR室長

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 証券会社等に口座をお持ちの株主様
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

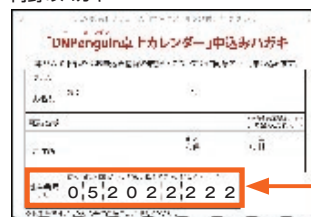
2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店



縦 約14cm×横 約19cm 紙製カレンダー

同封のハガキ



「送付票」右下の番号が「株主番号」です。

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて100株(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL : 03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。